

絵手紙作家 小西力也の 絵手紙で、 げんき!

動画はこちらから!

<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/aichi-kourei-kenkou.html>

愛知県 高齢者 元気づくり 検索



小西力也

油絵や水彩画などを学んだ後、2000年より絵手紙協会公認講師に。現在は県内の各地の教室で指導をする。愛知県芸術文化センターなどで国内、海外を旅して描いた風景画などの個展を開催。



絵手紙とは?

「ヘタでいい ヘタがいい」がモットーの絵がある手紙。絵も文字もうまく描こうとするのではなく、相手のことを思って、心を込めて描くことが大切。老若男女、誰でも気軽に始められるのが魅力。



絵手紙をやってみると?

~以下のような効果が期待されます~

- ものをよく観察し、記憶させるということに加え、手先を使うので、脳の活性化につながる。

準備するもの

筆ペン、赤ペン、練習用の紙(コピー用紙など)、はがき

初級編

筆ペンで線を描いてみよう!

筆の持ち方、線の描き方を練習してみましょう。

① 筆の持ち方



紙と筆ペンを用意し、横線、縦線、うずまきの線の引き方を練習する。筆は上部を持つ。肘を上げてリラックスする。

② 線を引く



線はゆっくり、1分間に10cmぐらいの速さで引く。横線は左から右、右から左へ。縦は上から下、下から上へ引く。

③ うずまきを描く



右巻きと左巻きのうずまきを描く。墨が紙に染み込むことを感じながら、ゆっくり線を引く。

④ 要点

線は太くなったり、細くなったり、かすれたりしてもOK。線は心の動きをそのまま表すものなので、むしろその方が味わいが出る。

ポイント

- 筆は上部の方を軽く持つ。
- ゆっくりと描く。

Check!

- 線は焦らず、ゆっくりと引けましたか?

中級編

文字を書いてみよう!

筆で文字を書く練習をしてみましょう。



「春」の文字を書いてみよう。横の線も、縦の線も等間隔で並行に。筆の速度はゆっくりと。



読みやすい文字を書くことを心がける。習字のような止め、跳ね、払いはない。



うずまきの練習を利用して、ひらがなの「ありがとう」の文字を書いてみよう。



漢字もひらがなも習字のような止め、跳ね、払いをしない。

ポイント

- 止め、跳ね、払いをしない。
- 話しかけるような言葉遣いにする。

Check!

- 相手のことを想って書けましたか?
- 読みやすい文字が書けましたか?

上級編

絵を描いてみよう!

絵手紙のメインである絵をはがきに描きましょう。



描いてみるものは最初は複雑なモチーフを避け、野菜や果物など身近なものを描く。



トマトはヘタから描く。はがきの2/3ほどを使う気持ちで絵を描く。



丸みを観察して描く。絵は小ぢんまりと納めず、はみ出すぐらいの大胆さで。



はがきの空いている箇所に文字を入れる。相手のことを想って、伝えたいことを書く。



色を付けるとこんな感じになる。最後に落款も入れる。



本来は画仙紙、顔彩、毛筆、硯、墨、筆洗い、梅皿などの道具を使って描く。

ポイント

- モチーフをよく観察する。
- 絵ははがきからはみ出すぐらい大胆に。

Check!

- 想いを乗せて、絵と文字が描けましたか?

まとめ

絵手紙は相手に気持ちを伝える手段です。電子メールやSNSにはない温かみがあります。絵の上手い、下手は関係ありません。まずは筆を取って、描いてみましょう。